

第2期生会会長あいさつ（令和元年度臨時代議員会）

【本文は、令和元年度代議員会において、第2期生会会長が代議員の皆様にお話しする予定であったものをあいさつ文として掲載させていただくものです。】

皆さん、こんにちは、第2期生会会長の水野と申します。

最初に簡単な自己紹介をさせていただきます。

学校での専攻は、海上の機械工学、部活は、入校最初から最後まで一貫して空手部にりましたが、卒業前にやっそこ黒帯を頂いたという非力者です。

それでは、皆さんに報告したい本論ですが、「第一は2期生会と同窓会との今後の関係 第二は2期生会の今後の在り方」この2点です。

先ずは期生会と同窓会の今後の関係ですが、まさに「同窓会有りて、期生会あり」の存在で、私が、会長時だけでなく、この60年の間、本当に色々お世話になり、それを具体的に上げれば枚挙にいとまありませんが、直接的には、同窓会規約の事業・活動の最初に挙げている、「会員相互の親睦・交流に関する事業」であり、各期のジェネレーション・ギャップを越えての、また陸・海・空の統合活動に貢献していただいていることに、私なりに、最大の感謝をしています。

まさに、同窓会有りて、期生会有りの存在です。したがって、同窓会に対しては、本心は今まで通りの関係をお願いしたいところですが、寄る年波は、心身ともにお世話になるばかりで、組織に対し何の力もなく、協力もできないとい

う自覚、また何か問題が生じた場合、同期のなかだけでは処理できず、期生会を越えて、他の期に迷惑をかけるという不安と、多くのことをやっていただいているという感謝の思いを、しっかりと感じて受け止められる年齢、その時点が今で「期生会としての同窓会活動の終了」、を正式に通知させていただきます。

解散等に関する規約から、その連絡は 1 年前を基準ということで、本年はすでに経過していますが、年度末ではなく本年 12 月末で、終了をお願いできればと思っています。その時期は無理ということであれば同窓会の規約上の取決めに従いますが、来年の代議員の委嘱は辞退、代議員会、総会には参加はしないということです。

次に、2 期生会の今後の在り方ですが、関連して私の好きな言葉の中に、格言と言いましょか「人有りて、われ有り」があります。

昭和 29 年の 4 月、国鉄横須賀線の久里浜駅北口に集合した、約 400 人、60 年以上前のことですが、その時初めて出会った仲間と共に進む将来の方向はまだ確定したものではなく、その不安な気持ちは、現在でもしっかりと思い出します。

しかし、その時出会った仲間が、その後陸・海・空に分かれても、現在も各地域で定期的に集まり、まさに統合の多様性ある情報交換をしあう仲間として続いている、此の期生会の仲間がいて、現在の自分があることは、全く疑う余地がない事です。「2 期生会」のひと有り、現在の我あり、です。

勿論私だけでなく集まる会員は皆同じ気持だろうと思います。従いまして、
2期生会は、役員が高齢に伴い多少手抜きしながらも、何か問題が生じても同期
生の中だけの問題として処理できる安心感も有り、現状維持、解散は致しません。

結論的には、「期生会の解散等に伴う同窓会の対応（案）」に関連し、二期生会
の組織及び独自の活動は存続するが、「令和2年12月末日をもって、期生会と
しての同窓会活動を終了する」ことを連絡します。

最後になりましたが、同窓会会員及び、役員の皆様のご健勝と、同窓会の
益々の発展をお祈りして、同窓会活動終了通知のご挨拶とさせていただきます。本当
に有難うございました。

令和2年3月31日

第2期生会会長 水野 信夫